

オキシペタラム
Tweedia (Oxypetalum) caeruleum
 (トウワタ科)

5枚の青色の花弁が星のように見えることからブルースターとよばれていたが、今では白、ピンクに半八重、八重もあるのでオキシペタラムで流通。オキシペタラム(*Oxypetalum*)は以前の学名(属)で、現在の属名は*Tweedia*である。葉は対生で、葉腋に5花ほどを分枝した花梗の先につける。切り口から出る乳液でかぶれる人がいる。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の老化	A: 花弁が水平またはやや立った状態で展開 B: Aのステージの後、花弁の先が内側へ閉じ始める C: 花弁が垂直に立ち、閉じる D: 花弁が閉じ、萎凋し、花梗が垂れる	各小花の老化は開花の参考とし、日持ちの判定には用いない。
開花程度	A: 全小花がAまたはB B: ほとんどの小花はAかBだが、CかDの小花もある C: AとBの小花はなく、CとDの小花が混在 D: 全花D	下から2段目の葉腋につく花柄の小花を調査。2段目の全小花がDになると、3段目、4段目の小花が健全であっても日持ちが終了したと判定する。
葉の褐変	A: 変色なし B: 下葉の先端がやや黄変 C: 下葉の先端が褐変 D: 下葉～中葉の葉の大部分が褐変	葉は有毛で、萎凋、変色しにくいので、重要な調査項目ではない。葉が褐変する前に、小花が萎凋する。
その他		

2) 留意点

茎を切りもどした後、しばらく水道水につけ、切り口の乳液を洗い流してから後処理剤が入った調査用花びんに移す。

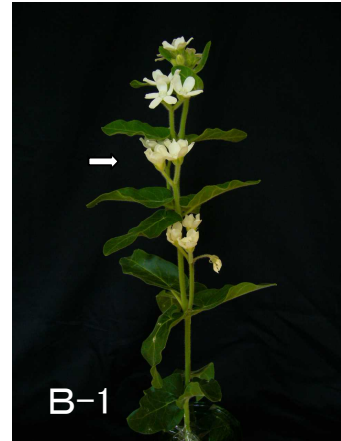
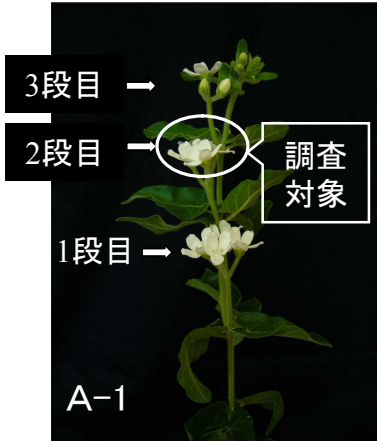
3段以上の葉腋に花がついている切り花を調査に用いる。

下から2段目の葉腋につく小花の老化で日持ちを判定する。

2段目の葉腋につく小花がDに至っても3段目、4段目は健全な状態で開花中である。

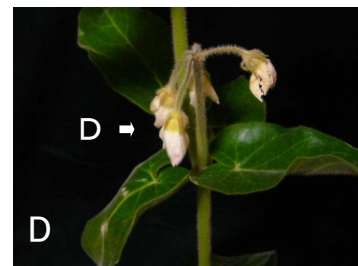
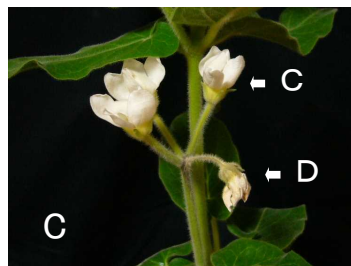
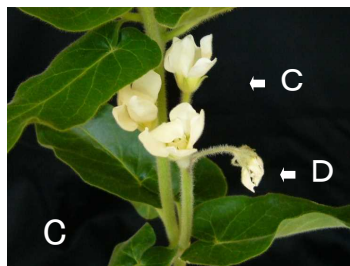
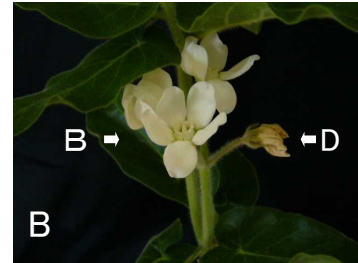
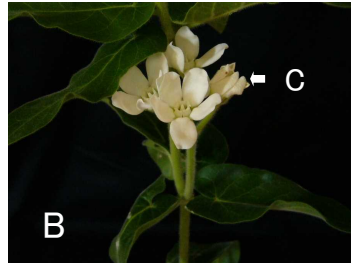
切り口からの乳液で葉が汚れていることがある。

3) 開花

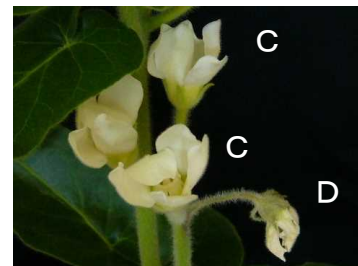
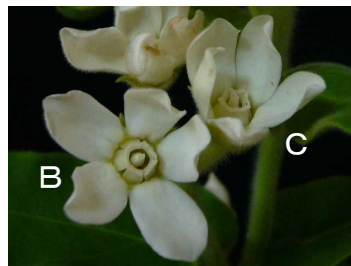


4) チェック事項

花柄につく小花の老化



小花の老化



葉の褐変

